感染症分野

研究領域
「開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究」

採択年度	2024年	**研究期間**	5年間
研究課題名	統合的ワンヘルスアプローチによる人獣共通マラリアの持続的制御法の開発	**貢献する主なSDGs**	
研究代表機関	長崎大学		
相手国	マレーシア	**主要相手国研究機関**	マレーシア・サバ大学

研究課題の概要

マレーシアでは毎年3000人もがサルマラリアに感染し、問題となっている。また、現在はヒト間伝播の報告はないが、ヒト間伝播が起きると世界に拡散する恐れがあるため、その阻止が喫緊の課題である。本研究課題では、マレーシア・サバ州でサルマラリア患者数を大幅に減少させる技術と戦略の開発を目指す。具体的には、新規マラリア迅速診断法の開発、自動媒介蚊幼虫制御法の開発、リスク地域・時間・行動の同定、リスク教育プログラムの開発と社会実装、これらを統合したサルマラリア制御のためのワンヘルス戦略の構築である。これにより、マレーシアの公衆衛生上の負担と経済的損失が軽減し、ヒト間伝播を抑制することが出来る。